

# 絃友会便り

名渡山兼一と絃友会をご支援下さる皆様へ  
近況報告、絃友会便りをお届けいたします。

<http://www.genyu-kai.com> 2013.6.21 (No.89)

## 大いなる家族・打ち上げ!!!



中央・作者の小川信夫さん

5月26日最終上演終了後、出演者・スタッフ約60名がサンピアン川崎の打上会場に集いました。

それぞれ立場や役割は違っても一つの目標に向かって過ごした一年、私たちは皆家族のように親しくなりました。

40名近い実行委員の先生方・40名あまりの出演者の皆さん・80名あまりの沖縄芸能研究会のメンバー・陰の力のスタッフの皆さん・川崎市や川崎市文化財団の皆さんが、出せる力をすべて出し切って6回の上演が盛会に終わりました。



中央・演出の杉本孝司さん

チケット販売につきましては、川崎沖縄芸能研究会や絃友会ご支援者の皆様に大変お世話になりましたこと改めてお礼申し上げます。一人ひとりの力が大きな力となり総売り上げは3800枚を超えていると伺いました。

市民劇を1カ月に6上演もして、これだけ集客できたことは誇らしいことだと感じています。

この成果は、地元各紙をはじめ沖縄の琉球新報・沖縄タイムス・ラジオ沖縄などマスコミや、東京・鶴見・川崎の沖縄県人会のお力添えもあったからこそ・・・ありがとうございました。



中央・演出助手の内田勉さん

「大いなる家族」のたくさんの家族にプツリと会えなくなって淋しい・・・が、今の心情です。

素敵な出会いがたくさんありました!!!

言葉では尽くせない多くの学びがありました!!!

このような機会に巡り合えるのは父である以上に師である名渡山先生のおかげ、私が頑張れば喜んでくれ私がつまづけば支えてくれる心強い存在です。

## 心の師匠・佐久川 昌子先生

沖縄の人が川崎に移住した歴史は大正時代に遡ると伝えられ多くの先達のご苦勞がしのべられます。そのころ川崎に暫く滞在した阿波連先生、戦後川崎に沖縄芸能を伝授した渡嘉敷先生・池宮城先生、物心両面から支えた米須先生・無形文化財指定に尽力された古江先生、多くの方たちの熱意が川崎沖縄芸能研究会に託されています。

当時ご尽力なさった方でご健在なのは佐久川昌子先生。私の踊りの先生(大笑い)、17歳から2年ほど手ほどきを戴きましたが私は全くセンスがなく辞めさせていただきました。でも、佐久川先生の踊りにこめる情熱やお人柄を受け継ぐだけのセンスはあると自負しています。

川崎沖縄芸能研究会の成り立ちや歴代会長の想い入れにつきましては、その50年史に詳しく記されています。